

第2章 高齢者をめぐる主な現状と課題

- 1 人口構造・高齢化率
- 2 高齢者の世帯の状況
- 3 高齢者の生活と住まいの状況
- 4 要介護認定者の状況
- 5 高齢者の受診・疾病の状況

この章では、各種統計データに基づいて、京都府の高齢者をめぐる現状と課題を明らかにします。

第2章 高齢者をめぐる主な現状と課題

1 人口構造・高齢化率

この項目のポイント

- ▶ 総人口が減少する中、高齢者数は増加し高齢化率は上昇を続ける
- ▶ 京都府の高齢化率は全国を上回る
- ▶ 山城南圏域の高齢化率は低く、丹後・中丹・南丹圏域の高齢化率は高い
- ▶ 特に75歳以上、85歳以上の高齢者人口は今後も大きく増加

(1) 全国の様況

- 我が国では、総人口が減少に転じている一方で、平均寿命の伸長や少子化を反映して高齢化が急速に進んでおり、国勢調査等の高齢化率の推移を見ると、2010（平成22）年が22.8%、2015（平成27）年が26.3%、2020（令和2）年が28.0%、2022（令和4）年が29.0%と顕著に増加しています。（図表2-1）
- 2022（令和4）年の総人口は1億2,495万人で、2015（平成27）年と比べ約214万人（1.6%）の減少となっている一方で、65歳以上の高齢者人口は3,624万人で、277万人（8.2%）の増加となっています。（図表2-1）

【図表2-1 総人口と高齢者人口の推移（全国）】

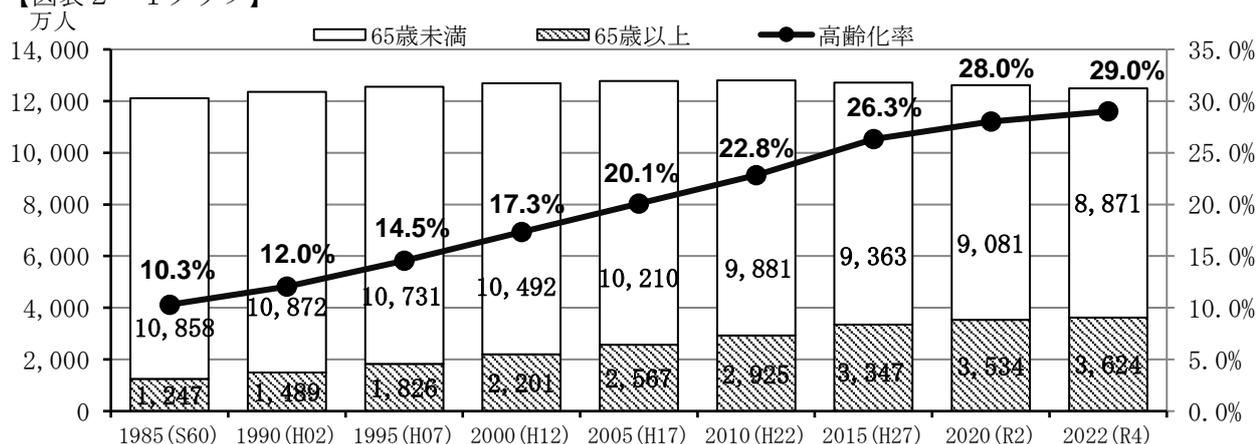
（単位：万人）

	総人口			（参考：京都府）
		高齢者人口	高齢化率	高齢化率
1985(昭和60)年	12,105	1,247	10.3%	11.2%
1990(平成2)年	12,361	1,489	12.0%	12.6%
1995(平成7)年	12,557	1,826	14.5%	14.7%
2000(平成12)年	12,693	2,201	17.3%	17.4%
2005(平成17)年	12,777	2,567	20.1%	20.0%
2010(平成22)年	12,806	2,925	22.8%	23.0%
2015(平成27)年	12,709	3,347	26.3%	26.9%
2020(令和2)年	12,615	3,534	28.0%	28.5%
2022(令和4)年	12,495	3,624	29.0%	29.5%

注1：出典 総務省「国勢調査」（2022（令和4）年のみ総務省「人口推計」）

注2：高齢化率は過去の統計にあわせるため、総人口に年齢不詳を含めて算出している

【図表2-1 グラフ】



□ 将来推計としては、2025（令和7）年にはいわゆる「団塊の世代」が75歳に到達し、後期高齢者が急増することが見込まれ、「団塊ジュニア世代」が高齢者となる2040（令和22）年には、高齢者人口は3,900万人を超えてピークを迎えますが、現役世代の減少により高齢化率はその後も上昇を続けることが予想されます。（図表2-2）

□ また、前期高齢者人口は2045（令和27）年をピークに減少に転じますが、後期高齢者人口は増加を続け、2060（令和42）年には総人口の4人に1人が後期高齢者になると見込まれています。（図表2-2）

【図表2-2 総人口と高齢者人口の将来推計（全国）】

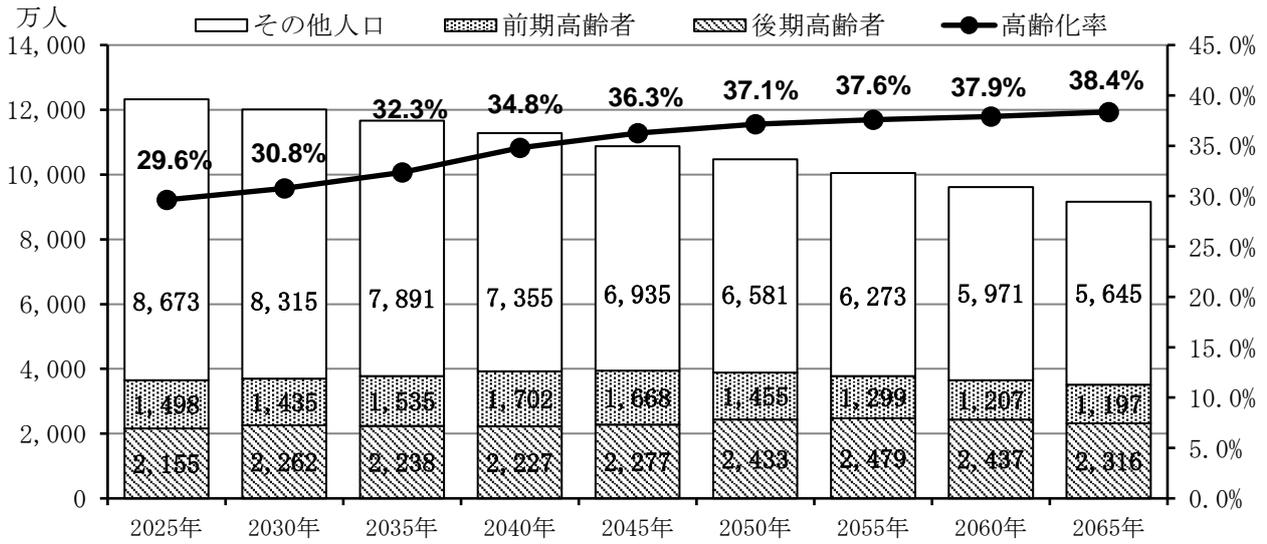
（単位：万人）

	総人口 (A)	高齢者人口 (B)		前期高齢者 (C)		後期高齢者 (D)	
		(高齢化率)		割合C/A	割合D/A		
2025 (R7) 年	12,326	3,653 (29.6%)	1,498	12.2%	2,155	17.5%	
2030 (R12) 年	12,012	3,697 (30.8%)	1,435	11.9%	2,262	18.8%	
2035 (R17) 年	11,664	3,773 (32.3%)	1,535	13.2%	2,238	19.2%	
2040 (R22) 年	11,284	3,929 (34.8%)	1,702	15.1%	2,227	19.7%	
2045 (R27) 年	10,880	3,945 (36.3%)	1,668	15.3%	2,277	20.9%	
2050 (R32) 年	10,469	3,888 (37.1%)	1,455	13.9%	2,433	23.2%	
2055 (R37) 年	10,051	3,778 (37.6%)	1,299	12.9%	2,479	24.7%	
2060 (R42) 年	9,615	3,644 (37.9%)	1,207	12.6%	2,437	25.3%	
2065 (R47) 年	9,159	3,513 (38.4%)	1,197	13.1%	2,316	25.3%	

注1：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」による

注2：端数処理のため、数値の合計は一致しない場合がある（以下、図表共通）

【図表2-2 グラフ】



(2) 京都府の状況

- 2022（令和4）年度の市町村報告値によると、京都府の高齢者人口は735,812人、高齢化率は29.5%となっています。（図表2-3）

【図表2-3 圏域別の総人口と高齢者人口の推移（京都府）】 (単位：人)

		合 計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
1995 (H7) 年	総人口	2,629,592	121,445	217,320	156,104	1,611,688	435,740	87,295
	65歳以上	386,976 (14.7%)	27,583 (22.7%)	44,615 (20.5%)	25,628 (16.4%)	229,528 (14.2%)	47,553 (10.9%)	12,069 (13.8%)
	75歳以上	162,555 (6.2%)	11,980 (9.9%)	18,752 (8.6%)	10,670 (6.8%)	97,634 (6.1%)	18,556 (4.3%)	4,963 (5.7%)
2000 (H12) 年	総人口	2,644,391	117,559	216,051	156,787	1,614,792	442,739	96,463
	65歳以上	459,273 (17.4%)	30,594 (26.0%)	49,713 (23.0%)	29,862 (19.0%)	273,531 (16.9%)	60,927 (13.8%)	14,646 (15.2%)
	75歳以上	194,202 (7.3%)	13,983 (11.9%)	21,986 (10.2%)	12,945 (8.3%)	115,785 (7.2%)	23,429 (5.3%)	6,074 (6.3%)
2005 (H17) 年	総人口	2,647,660	111,859	211,465	147,625	1,623,378	445,108	108,225
	65歳以上	530,350 (20.0%)	32,305 (28.9%)	53,014 (25.1%)	31,324 (21.2%)	318,920 (19.6%)	76,871 (17.3%)	17,916 (16.6%)
	75歳以上	242,033 (9.1%)	16,788 (15.0%)	27,207 (12.9%)	15,369 (10.4%)	143,317 (8.8%)	31,187 (7.0%)	8,165 (7.5%)
2010 (H22) 年	総人口	2,636,092	104,850	204,157	143,345	1,623,308	445,855	114,577
	65歳以上	605,709 (23.0%)	33,242 (31.7%)	55,977 (27.4%)	34,971 (24.4%)	362,401 (22.3%)	96,972 (21.7%)	22,146 (19.3%)
	75歳以上	286,195 (10.9%)	18,659 (17.8%)	30,456 (14.9%)	17,654 (12.3%)	169,717 (10.5%)	39,784 (8.9%)	9,925 (8.7%)
2015 (H27) 年	総人口	2,610,353	97,424	196,746	137,077	1,623,834	438,080	117,192
	65歳以上	703,419 (26.9%)	35,258 (36.2%)	60,663 (30.8%)	40,183 (29.3%)	420,110 (25.9%)	119,381 (27.3%)	27,824 (23.7%)
	75歳以上	329,552 (12.6%)	19,350 (19.9%)	31,486 (16.0%)	19,313 (14.1%)	197,904 (12.2%)	49,838 (11.4%)	11,661 (10.0%)
2020 (R2) 年	総人口	2,578,087	89,638	189,488	130,710	1,617,143	429,990	121,118
	65歳以上	734,493 (28.5%)	35,015 (39.1%)	60,725 (32.0%)	42,803 (32.7%)	435,942 (27.0%)	128,390 (29.9%)	31,618 (26.1%)
	75歳以上	384,663 (14.9%)	19,668 (21.9%)	32,895 (17.4%)	21,546 (16.5%)	231,267 (14.3%)	64,346 (15.0%)	14,941 (12.3%)
2022 (R4) 年	総人口	2,493,540	90,045	184,424	130,093	1,536,937	428,165	123,876
	65歳以上	735,812 (29.5%)	34,967 (38.8%)	60,045 (32.6%)	43,661 (33.6%)	434,515 (28.3%)	129,462 (30.2%)	33,162 (26.8%)
	75歳以上	414,373 (16.6%)	20,273 (22.5%)	34,261 (18.6%)	23,361 (18.0%)	247,441 (16.1%)	71,930 (16.8%)	17,107 (13.8%)

注1：出典 総務省「国勢調査」（2022（令和4）年のみ住基台帳に基づく市町村報告数値）

注2：表中の（ ）は総人口に対する割合を示す

注3：高齢化率は過去の統計にあわせるため、総人口に年齢不詳を含め計算している

□ 当計画期間内の高齢者人口の将来推計によると、高齢者人口は、2024（令和6）年から2026（令和8）年までの2年間で6千人以上増加し、高齢化率は30.4%に上昇する見通しです。

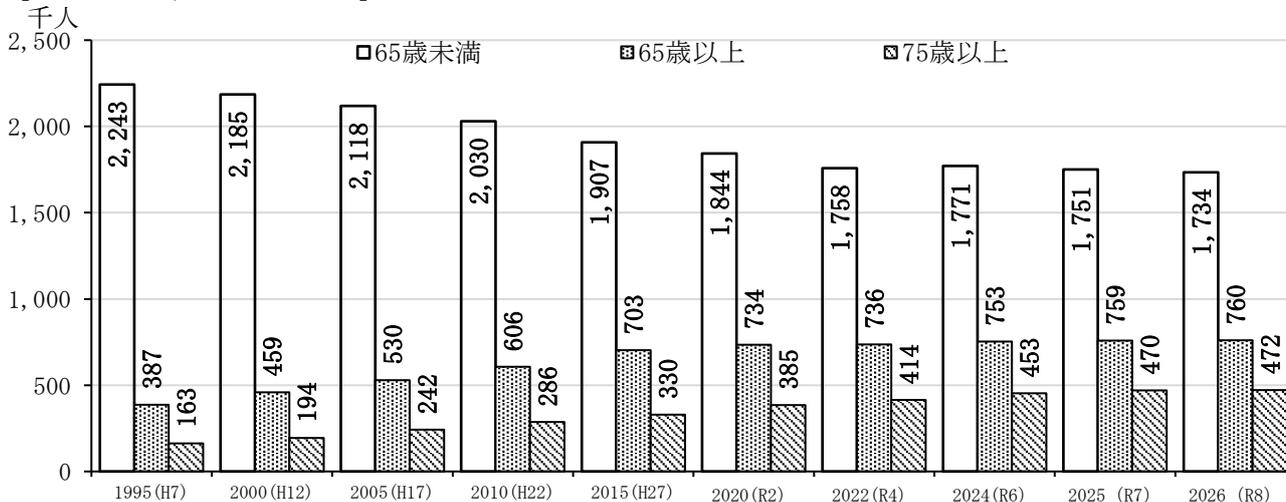
75歳以上人口は、2024（令和6）年からの2年間で約1万9千人増え、85歳以上人口は、同じく約1万1千人増える見通しです。（図表2-4）

【図表2-4 第10次計画期間の圏域別の総人口と高齢者人口の将来推計（京都府）】

		(単位：人)						
		合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
2024 (R6) 年	総人口	2,530,323	83,497	182,407	125,468	1,598,066	419,649	121,236
	65歳以上	753,877 (29.8%)	34,265 (41.0%)	60,107 (33.0%)	43,513 (34.7%)	453,353 (28.4%)	129,108 (30.8%)	33,531 (27.7%)
	75歳以上	453,175 (17.9%)	20,823 (24.9%)	36,291 (19.9%)	24,954 (19.9%)	274,852 (17.2%)	77,442 (18.5%)	18,813 (15.5%)
	85歳以上	144,779 (5.7%)	7,842 (9.4%)	12,699 (7.0%)	8,042 (6.4%)	89,059 (5.6%)	21,808 (5.2%)	5,329 (4.4%)
2025 (R7) 年	総人口	2,518,390	81,963	180,638	124,158	1,593,300	417,066	121,265
	65歳以上	758,721 (30.1%)	34,078 (41.6%)	59,953 (33.2%)	43,690 (35.2%)	457,703 (28.7%)	129,288 (31.0%)	34,009 (28.0%)
	75歳以上	470,292 (18.7%)	21,112 (25.8%)	37,140 (20.6%)	25,805 (20.8%)	285,740 (17.9%)	80,714 (19.4%)	19,781 (16.3%)
	85歳以上	149,956 (6.0%)	7,847 (9.6%)	12,780 (7.1%)	8,195 (6.6%)	92,724 (5.8%)	22,858 (5.5%)	5,552 (4.6%)
2026 (R8) 年	総人口	2,503,758	80,546	178,880	122,738	1,586,796	413,641	121,157
	65歳以上	759,948 (30.4%)	33,843 (42.0%)	59,617 (33.3%)	43,620 (35.5%)	459,389 (29.0%)	129,170 (31.2%)	34,309 (28.3%)
	75歳以上	472,605 (18.9%)	21,096 (26.2%)	37,125 (20.8%)	26,145 (21.3%)	286,757 (18.1%)	81,282 (19.7%)	20,200 (16.7%)
	85歳以上	155,779 (6.2%)	7,906 (9.8%)	12,955 (7.2%)	8,461 (6.9%)	96,249 (6.1%)	24,302 (5.9%)	5,906 (4.9%)

注1：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」による

【図表2-3、2-4 グラフ】



- 高齢者人口の長期的な将来推計を見ると、2045（令和27）年には高齢化率が34.5%に達する見通しです。また、後期高齢者の割合も2045（令和27）年には19%を超え、約5人に1人が後期高齢者となると見込まれています。

（図表2-5）

- 高齢者人口の長期的な将来推計を年代別・圏域別に見てみると、65歳以上人口は今後「緩やかに減少～増加」する見通しである一方で、85歳以上人口は京都府全体で2035（令和17）年に2023（令和5）年の約1.4倍に達し、圏域別に見ると約2倍に達する圏域もあると予測されています。（図表2-5）

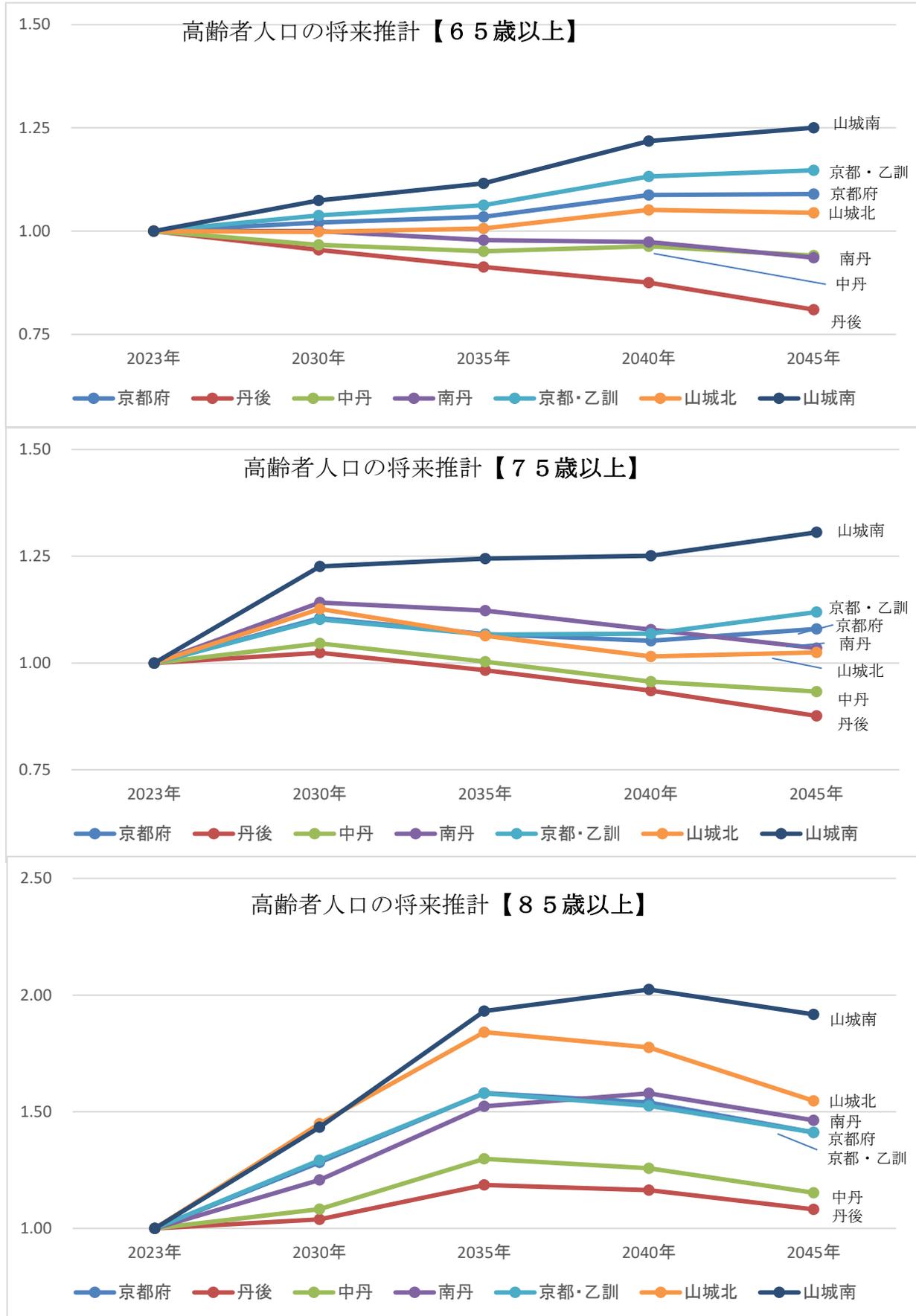
【図表2-5 総人口と高齢者人口の将来推計（京都府）】

（単位：人）

		合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
2023 (R5) 年	総人口	2,542,289	85,036	184,181	126,781	1,602,845	422,240	121,206
	65歳以上	749,022 (29.5%)	34,453 (40.5%)	60,262 (32.7%)	43,335 (34.2%)	448,991 (28.0%)	128,929 (30.5%)	33,052 (27.3%)
	75歳以上	436,013 (17.2%)	20,535 (24.1%)	35,441 (19.2%)	24,100 (19.0%)	263,932 (16.5%)	74,162 (17.6%)	17,843 (14.7%)
	85歳以上	139,591 (5.5%)	7,838 (9.2%)	12,619 (6.9%)	7,889 (6.2%)	85,383 (5.3%)	20,756 (4.9%)	5,106 (4.2%)
2030 (R12) 年	総人口	2,445,192	74,876	171,843	117,052	1,560,760	399,934	120,727
	65歳以上	764,864 (31.3%)	32,902 (43.9%)	58,272 (33.9%)	43,342 (37.0%)	466,139 (29.9%)	128,698 (32.2%)	35,511 (29.4%)
	75歳以上	481,864 (19.7%)	21,027 (28.1%)	37,066 (21.6%)	27,511 (23.5%)	290,829 (18.6%)	83,556 (20.9%)	21,875 (18.1%)
	85歳以上	179,087 (7.3%)	8,139 (10.9%)	13,656 (7.9%)	9,530 (8.1%)	110,358 (7.1%)	30,083 (7.5%)	7,321 (6.1%)
2035 (R17) 年	総人口	2,361,161	67,985	163,022	109,528	1,521,086	380,407	119,133
	65歳以上	780,166 (33.0%)	31,297 (46.0%)	57,167 (35.1%)	42,560 (38.9%)	481,805 (31.7%)	129,919 (34.2%)	37,418 (31.4%)
	75歳以上	465,411 (19.7%)	20,182 (29.7%)	35,560 (21.8%)	27,052 (24.7%)	281,536 (18.5%)	78,873 (20.7%)	22,208 (18.6%)
	85歳以上	220,610 (9.3%)	9,297 (13.7%)	16,382 (10.0%)	12,018 (11.0%)	134,832 (8.9%)	38,220 (10.0%)	9,861 (8.3%)
2040 (R22) 年	総人口	2,267,021	61,293	154,182	101,621	1,473,602	359,530	116,793
	65歳以上	814,565 (35.9%)	30,167 (49.2%)	58,058 (37.7%)	42,186 (41.5%)	508,318 (34.5%)	135,582 (37.7%)	40,254 (34.5%)
	75歳以上	458,770 (20.2%)	19,207 (31.3%)	33,892 (22.0%)	25,980 (25.6%)	282,069 (19.1%)	75,295 (20.9%)	22,327 (19.1%)
	85歳以上	214,871 (9.5%)	9,125 (14.9%)	15,869 (10.3%)	12,456 (12.3%)	130,221 (8.8%)	36,865 (10.3%)	10,335 (8.8%)
2045 (R27) 年	総人口	2,170,369	54,934	145,255	93,751	1,423,859	338,629	113,941
	65歳以上	816,356 (37.6%)	27,909 (50.8%)	56,700 (39.0%)	40,562 (43.3%)	515,202 (36.2%)	134,652 (39.8%)	41,331 (36.3%)
	75歳以上	470,729 (21.7%)	17,993 (32.8%)	33,075 (22.8%)	24,933 (26.6%)	295,422 (20.7%)	76,002 (22.4%)	23,304 (20.5%)
	85歳以上	196,945 (9.1%)	8,480 (15.4%)	14,546 (10.0%)	11,542 (12.3%)	120,476 (8.5%)	32,110 (9.5%)	9,791 (8.6%)

注1：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」による

【図表2-5 グラフ 2023（R5）年の人口を1とした場合の高齢者人口の増加率】

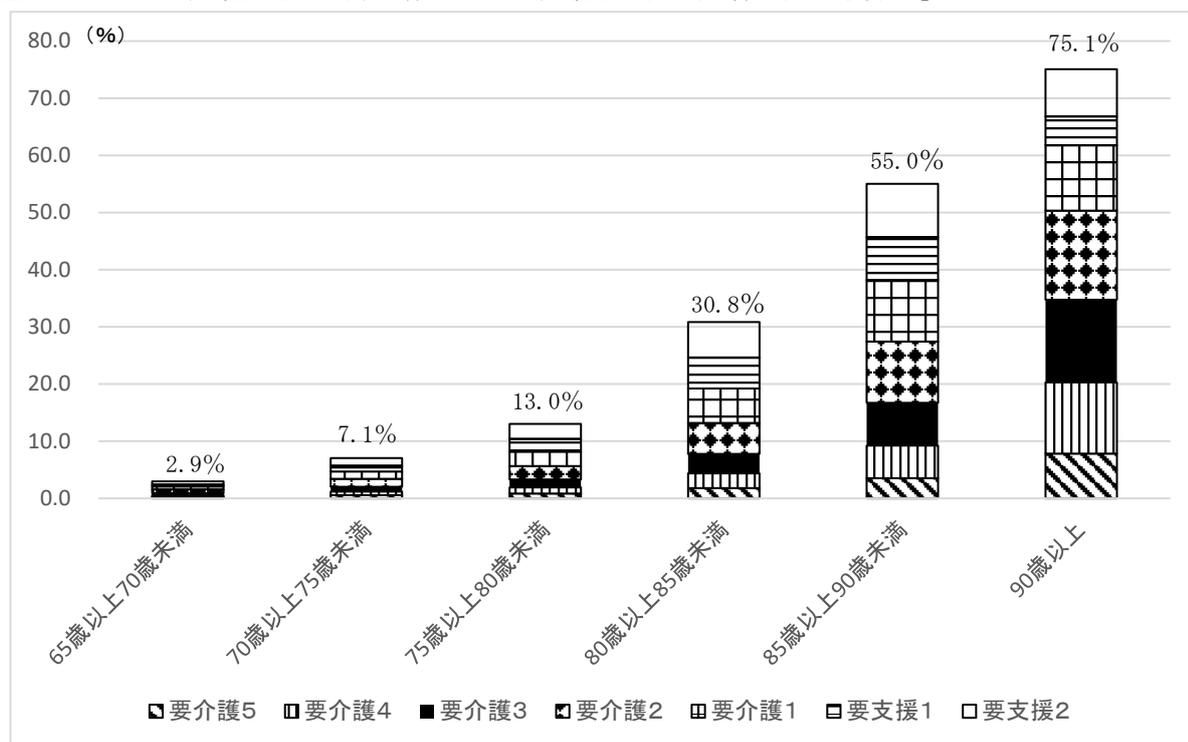


注1：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」による

□ 要介護認定率を年齢階級別・要介護度別で見ると、75歳以上80歳未満では13%に留まっていますが、80歳以上85歳未満では約1/3が要介護認定を受けており、85歳以上90歳未満では過半数を超え、90歳以上では約8割が要介護認定を受けています。

特に、要介護3以上に絞って見ると、80歳以上85歳未満で約8%、85歳以上90歳未満で約17%、90歳以上で約35%となっています。（図表2-6）

【図表2-6 要介護認定率（年齢階級別・要介護度別）（京都府）〔概算〕】



注：介護保険事業状況報告令和5年9月月報 及び 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

2 高齢者の世帯の状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢夫婦世帯、高齢単身世帯が大きく増加し総世帯数の約1/4を占める
- ▶ 特に、丹後地域、中丹地域は高い状況

(1) 全国の状況

- 2020（令和2）年の国勢調査によると、高齢夫婦世帯と高齢単身世帯が大きく増加し、総世帯数の約24%を占める状況にあります。（図表2-7）
- 今後もこの傾向は続き、総世帯数が2020（令和2）年をピークに減少に転じる一方で、2040（令和22）年には高齢夫婦世帯と高齢単身世帯があわせて1,583万世帯となり、総世帯数の30%以上を占めると予測されています。（図表2-7）

【図表2-7 総世帯数と高齢者世帯の推移（全国）】

（単位：万世帯）

	総世帯数 (一般世帯)	うち高齢夫婦世帯		うち高齢単身世帯		合計	
			構成比		構成比		構成比
1985(昭和60)年	3,798	142	3.7%	118	3.1%	260	6.8%
1990(平成2)年	4,067	197	4.8%	162	4.0%	359	8.8%
1995(平成7)年	4,390	276	6.3%	220	5.0%	496	11.3%
2000(平成12)年	4,678	366	7.8%	303	6.5%	669	14.3%
2005(平成17)年	4,906	449	9.1%	386	7.9%	835	17.0%
2010(平成22)年	5,184	525	10.1%	479	9.2%	1,004	19.4%
2015(平成27)年	5,333	608	11.4%	593	11.1%	1,201	22.5%
2020(令和2)年	5,570	653	11.7%	672	12.1%	1,325	23.8%
2025(令和7)年	5,412	674	12.5%	751	13.9%	1,426	26.3%
2030(令和12)年	5,348	669	12.5%	796	14.9%	1,465	27.4%
2035(令和17)年	5,232	667	12.7%	842	16.1%	1,508	28.8%
2040(令和22)年	5,076	687	13.5%	896	17.7%	1,583	31.2%

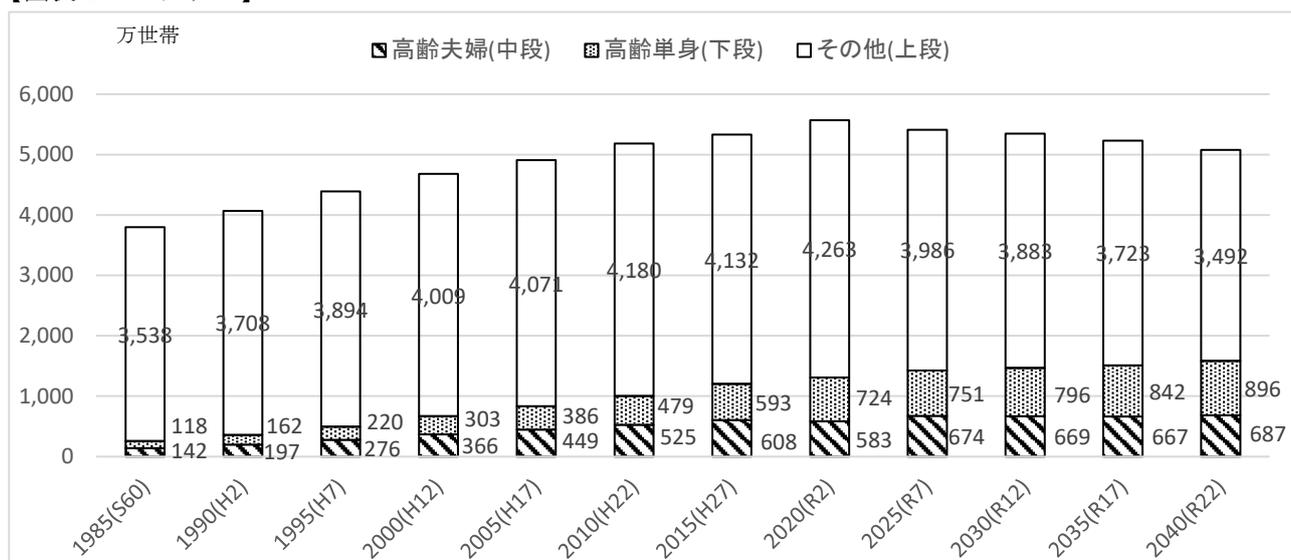
注1：2020(R2)年以前は国勢調査による

注2：2020(R2)年以前の「高齢夫婦世帯」は、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に入所していない世帯）をいう

注3：2025(R7)年以降は国立社会保障・人口問題研究所の2018(平成30)年推計による

注4：2025(R7)年以降の「高齢夫婦世帯」は世帯主が65歳以上の世帯をいう

【図表2-7 グラフ】



(2) 京都府の状況

- 2020（令和2）年の国勢調査によると、高齡夫婦世帯や高齡単身世帯が大きく増加し、総世帯数の約25%を占める状況にあり、全国と比べても高い割合を示しています。（図表2-8）
- 今後総世帯数が減少する一方で、特に高齡単身世帯が増加し、2040（令和22）年には高齡夫婦世帯と高齡単身世帯が総世帯数の約33%を占めると予測されています。（図表2-8）

【図表2-8 総世帯数と高齡者世帯の推移（京都府）】

（単位：世帯）

	総世帯数 (一般世帯)	うち 高齡夫婦世帯		うち 高齡単身世帯		合 計	
			構成比		構成比		構成比
1985(昭和60)年	857,424	38,034	4.4%	32,948	3.8%	70,982	8.3%
1990(平成2)年	893,733	47,776	5.3%	43,416	4.9%	91,192	10.2%
1995(平成7)年	958,252	63,756	6.7%	56,497	5.9%	120,253	12.5%
2000(平成12)年	1,015,468	82,234	8.1%	76,105	7.5%	158,339	15.6%
2005(平成17)年	1,063,907	99,794	9.4%	92,218	8.7%	192,012	18.0%
2010(平成22)年	1,120,440	117,836	10.5%	110,366	9.9%	228,202	20.4%
2015(平成27)年	1,151,422	136,550	11.9%	136,531	11.9%	273,081	23.7%
2020(令和2)年	1,188,903	143,699	12.1%	153,688	12.9%	297,387	25.0%
2025(令和7)年	1,157,598	146,264	12.6%	175,516	15.2%	321,780	27.8%
2030(令和12)年	1,135,507	142,079	12.5%	183,926	16.2%	326,005	28.7%
2035(令和17)年	1,099,515	139,619	12.7%	191,724	17.4%	331,343	30.1%
2040(令和22)年	1,056,052	143,274	13.6%	202,190	19.1%	345,464	32.7%

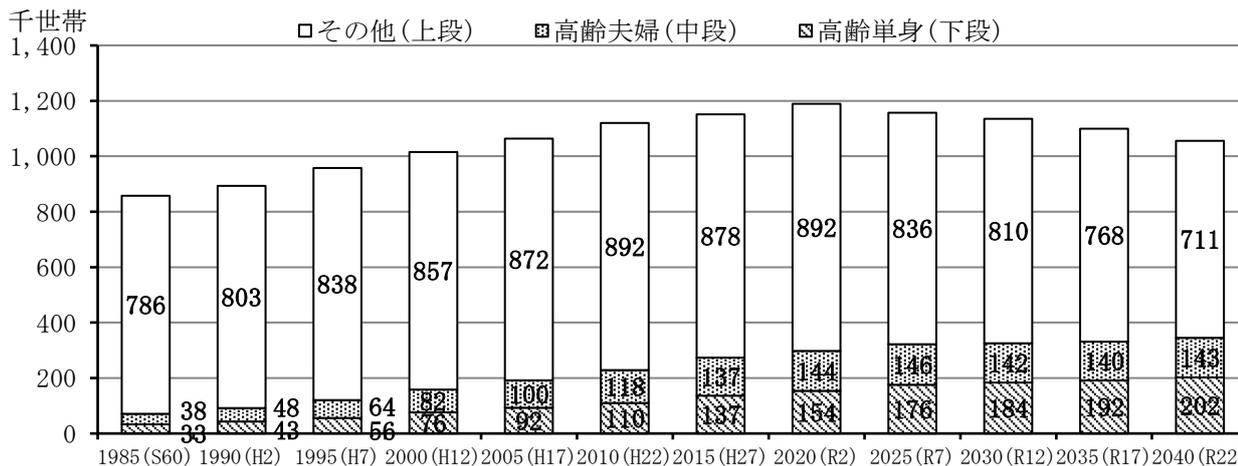
注1：2020(R2)年以前は国勢調査による

注2：2020(R2)年以前の「高齡夫婦世帯」は、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に
入所していない世帯）をいう

注3：2025(R7)年以降は国立社会保障・人口問題研究所の2019(平成31)年推計による

注4：2025(R7)年以降の「高齡夫婦世帯」は世帯主が65歳以上の世帯をいう

【図表2-8 グラフ】



□ 京都府における2020（令和2）年の国勢調査の世帯数を圏域別に比較すると、高齢夫婦世帯の割合が最も高いのは丹後圏域で15.4%、次いで南丹圏域が14.5%となっています。（図表2-9）

□ また、高齢単身世帯の割合についても、丹後圏域が最も高く16.2%となっており、次いで中丹圏域が14.3%となっており、特に府北部の割合が高くなっています。（図表2-9）

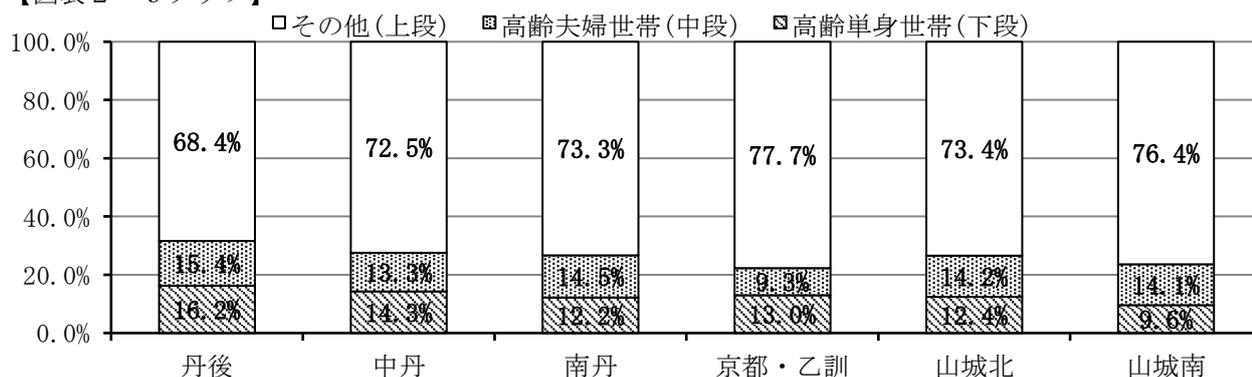
【図表2-9 圏域別の総世帯数と高齢者世帯（京都府：2020(令和2)年度）】 (単位：世帯)

	総世帯数	うち高齢夫婦世帯		うち高齢単身世帯		合計	
			構成比		構成比		構成比
丹後	36,227	5,568	15.4%	5,883	16.2%	11,451	31.6%
中丹	82,325	10,910	13.3%	11,743	14.3%	22,653	27.5%
南丹	52,709	7,628	14.5%	6,451	12.2%	14,079	26.7%
京都・乙訓	792,481	73,550	9.3%	103,036	13.0%	176,586	22.3%
山城北	178,961	25,377	14.2%	22,160	12.4%	47,537	26.6%
山城南	46,200	6,502	14.1%	4,415	9.6%	10,917	23.6%
合計	1,188,903	129,535	10.9%	153,688	12.9%	283,223	23.8%

注1：数値は国勢調査による

注2：高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に入所していない世帯）をいう

【図表2-9 グラフ】



3 高齢者の生活と住まいの状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢者世帯の1世帯あたりの平均所得金額は333万円、中央値は271万円
- ▶ 世帯主の年齢階級別（二人以上世帯）で見ると、60歳以上の世帯では年間収入は全世帯平均を下回るが、貯蓄額は2千万円を超えている。

□ 「国民生活基礎調査」（厚生労働省）によると、2020（令和2）年の1世帯あたりの平均所得金額は、全世帯では564万3千円で、高齢者世帯（65歳以上の人のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の人が加わった世帯）では、332万9千円となっていますが、中央値をみると、全世帯では、440万円で、高齢者世帯では271万円となっており、高齢者世帯のうち、約35%が世帯所得200万円以下となっています。

□ 二人以上の世帯を世帯主の年齢階級別に見てみると、年間収入は60～69歳の世帯で609万円、70歳以上の世帯で426万円と全世帯平均の654万円を下回っています。

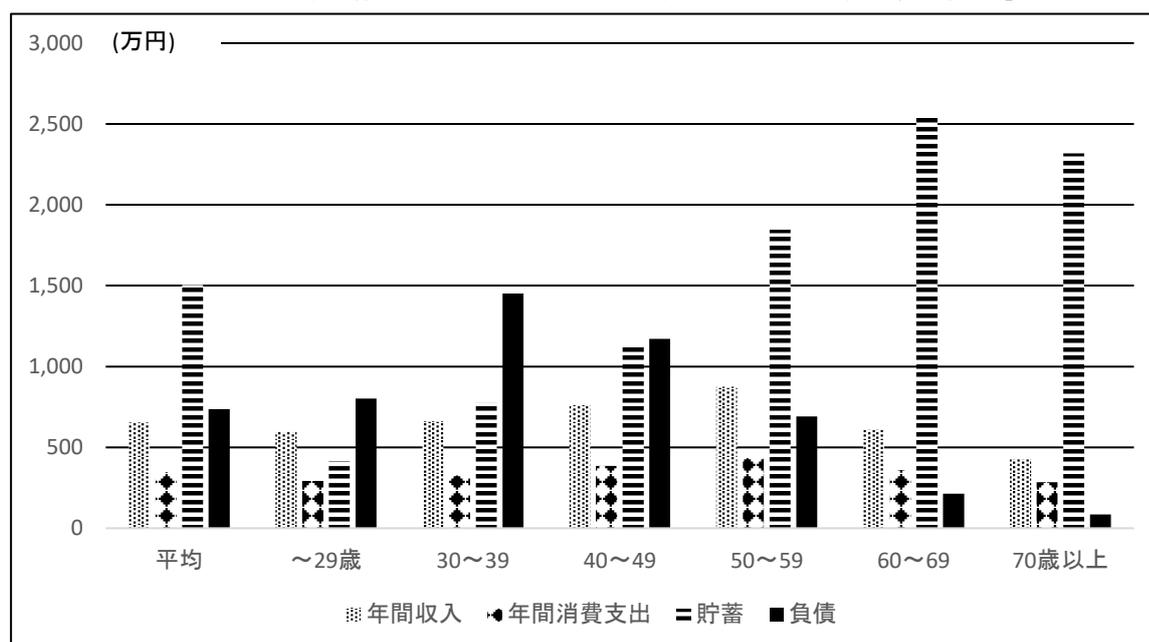
年間消費支出は60～69歳の世帯が359万円で、全世帯平均の347万円を上回っています。

貯蓄については60～69歳の世帯で2千5百万円を超えています。

負債については30～39歳の世帯が約1千4百万円でピークになり、60～69歳の世帯では214万円、70歳以上の世帯では86万円となっています。

（図表2-10）

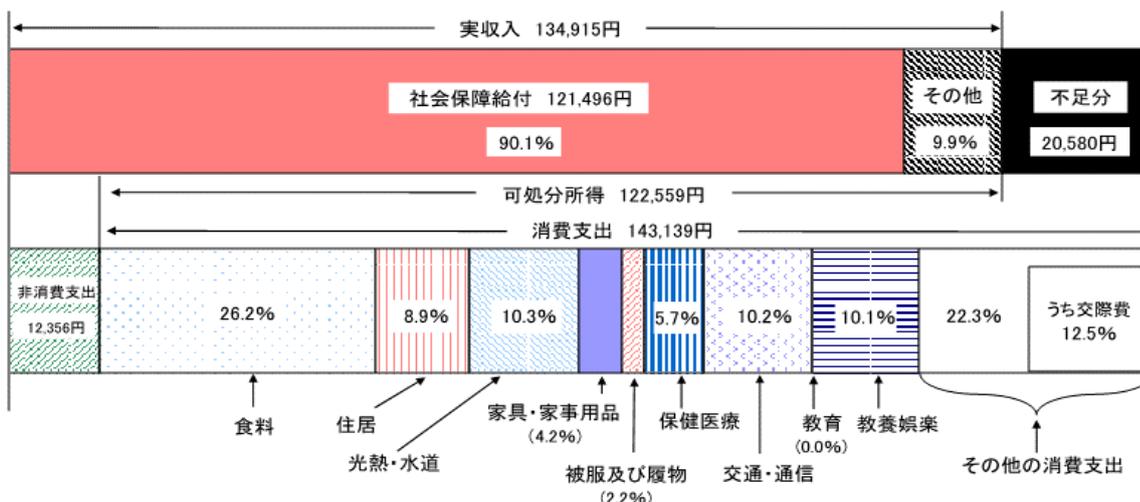
【図表2-10 世帯主の年齢階級別 1世帯当たりの年間収入・支出、貯蓄・負債】



注：数値は総務省「家計調査（二人以上世帯）」（2022年）による

- 高齢単身無職世帯（65歳以上の単身無職世帯）の実収入は月額約13万5千円で、うち可処分所得は約12万3千円となっています。（図表2-11）
- 一方、生活費などの消費支出は約14万円で、不足分は、預貯金などの金融資産の取崩しなどで賄われています。（図表2-11）
- 消費支出の内訳を見ると、「食料」、交際費などの「その他の消費支出」などの割合が高くなっています。（図表2-11）

【図表2-11 高齢単身無職世帯の家計収支 2022年】



注1：総務省「家計調査」（2022年）による
 注2：高齢単身無職世帯とは、65歳以上の単身無職世帯である
 注3：図中の「社会保障給付」及び「その他」の割合（%）は、実収入に占める割合である
 注4：図中の「食料」から「その他の消費支出」までの割合（%）は、消費支出に占める割合である

- 生活保護受給者の推移を見ると、2021（令和3）年7月末における65歳以上の生活保護受給者は、全国で105万人、京都府では25,971人で、65歳以上の人口に占める生活保護受給者の割合は全国で2.91%、京都府で3.51%となっています。（図表2-12）

【図表2-12 生活保護受給者の状況】

		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
全国	65歳以上の生活保護受給者	103万人	104万人	105万人	105万人	105万人
	65歳以上人口に占める割合	2.93%	2.93%	2.93%	2.93%	2.91%
京都府	65歳以上の生活保護受給者	26,086人	26,200人	26,270	26,095	25,971
	65歳以上人口に占める割合	3.51%	3.50%	3.61%	3.55%	3.51%

注：数値は厚生労働省「被保護者調査／年次調査（個別調査）」による
 各年7月31日現在の状況である

- 高齢者の住まいの状況については、高齢者のいる世帯のうち 持ち家世帯の割合は、高齢夫婦世帯で86.8%、高齢者単身世帯で68.2%となっています。

(図表2-13)

【図表2-13 高齢者夫婦世帯、高齢者単身世帯の居住の状況（京都府）】

	高齢夫婦世帯	高齢者単身世帯
世帯総数	130,300	155,500
うち持ち家世帯数（持ち家の割合）	113,100（86.8%）	106,100（68.2%）
うち借家世帯数（借家の割合）	16,600（12.7%）	49,000（31.5%）

注1：高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の世帯をいう

注2：高齢者単身世帯とは、65歳以上の単身世帯をいう

注3：数値は、平成30年住宅・土地統計調査による

- また、手すりや段差のない屋内など高齢者設備のある割合は、持ち家で60.9%、借家で48.8%となっています。（図表2-14）

【図表2-14 高齢者のいる世帯のうち、高齢者設備のある割合（京都府）】

	全体	高齢者設備のある割合	
		持ち家	借家
手すりや段差のない屋内など 高齢者設備のある割合	58.6%	60.9%	48.8%

注：数値は、平成30年住宅・土地統計調査による

4 要介護認定者の状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢者数の増加に伴い、全国・京都府とも要介護・要支援認定者が増加
- ▶ 京都府は全国に比べ、軽度者の割合が高い
- ▶ 京都府は全国に比べ、要介護認定率が高い

(1) 全国の様況

- 全国の要介護（要支援）認定者数は、2023（令和5）年3月末で約681万人となっています。（図表2-15）
- 高齢者の増加に伴って総数は増加していますが、要介護度別構成割合には大きな変化は見られません。（図表2-15）

【図表2-15 要介護（要支援）認定者数の状況（全国）】

（単位：人）

		2019（H31）年 3月末	2020（R2）年 3月末	2021（R3）年 3月末	2022（R4）年 3月末	2023（R5）年 3月末
要支援	1	915,333 (14.2%)	922,266 (14.1%)	948,954 (14.2%)	962,246 (14.2%)	972,852 (14.3%)
	2	905,167 (14.0%)	924,379 (14.1%)	929,624 (13.9%)	932,137 (13.8%)	940,039 (13.8%)
要介護	1	1,301,634 (20.2%)	1,330,743 (20.3%)	1,380,017 (20.6%)	1,408,339 (20.8%)	1,424,784 (20.9%)
	2	1,110,028 (17.2%)	1,129,262 (17.2%)	1,139,021 (17.0%)	1,135,383 (16.8%)	1,133,865 (16.6%)
	3	848,949 (13.2%)	862,100 (13.1%)	887,351 (13.3%)	899,500 (13.3%)	901,502 (13.2%)
	4	786,410 (12.2%)	803,074 (12.2%)	834,279 (12.5%)	858,473 (12.7%)	869,867 (12.8%)
	5	585,064 (9.1%)	586,500 (8.9%)	569,407 (8.5%)	569,917 (8.4%)	571,435 (8.4%)
計		6,452,585 (100.0%)	6,558,324 (100.0%)	6,688,653 (100.0%)	6,765,995 (100.0%)	6,814,344 (100.0%)
認定率		18.3%	18.5%	18.7%	18.9%	19.0%

注1：数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告年報」による

注2：ただし、2023（令和5）年3月末の数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告月報（令和5年3月分）（暫定）」による

(2) 京都府の状況

- 京都府の要介護（要支援）認定者数は、2023（令和5）年3月末で約16万4千人となっており、高齢者の増加に伴い、総数は2022（令和4）年3月末と比べて1.5%増加しています。（図表2-16）
- 要介護度別構成割合は、要支援1～要介護2（軽度者）の占める割合が、全体の67.2%（全国平均65.6%）となっており、全国と比べて1.6%高くなっています。（図表2-15、図表2-16）
- 認定率について見ると、全国に比べ京都府のほうが高い状況となっています。（図表2-15、図表2-16）
- 圏域別の要介護認定者数は、2019（平成31）年以降、丹後圏域及び中丹圏域を除く圏域で増加が続いています。（図表2-17）

【図表2-16 要介護（要支援）認定者数の状況（京都府）】（単位：人）

		2019（H31）年 3月末	2020（R2）年 3月末	2021（R3）年 3月末	2022（R4）年 3月末	2023（R5）年 3月末
要支援	1	20,119 (13.1%)	19,779 (12.8%)	20,780 (13.1%)	21,541 (13.4%)	21,545 (13.2%)
	2	24,475 (15.9%)	24,663 (16.0%)	25,842 (16.3%)	26,441 (16.4%)	27,172 (16.6%)
要介護	1	26,859 (17.5%)	26,882 (17.5%)	28,195 (17.7%)	29,050 (18.0%)	29,767 (18.2%)
	2	30,157 (19.6%)	30,615 (19.9%)	31,138 (19.6%)	30,926 (19.2%)	31,395 (19.2%)
	3	21,829 (14.2%)	22,064 (14.3%)	22,813 (14.4%)	22,830 (14.2%)	23,187 (14.2%)
	4	17,418 (11.3%)	17,224 (11.2%)	17,811 (11.2%)	18,114 (11.2%)	18,290 (11.2%)
	5	12,977 (8.4%)	12,698 (8.2%)	12,314 (7.7%)	12,285 (7.6%)	12,296 (7.5%)
計		153,834 (100.0%)	153,925 (100.0%)	158,893 (100.0%)	161,187 (100.0%)	163,652 (100.0%)
認定率		20.6%	20.8%	21.5%	21.8%	22.2%

注1：数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告年報」及び京都府調査による

注2：ただし、2023（令和5）年3月末の数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告月報（令和5年3月分）（暫定）」による

【図表2-17 圏域別の要介護（要支援）認定者数の状況（京都府）】（単位：人）

	合計 (対前年伸率)						
	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	
2019（H31）年3月末	7,978 (103.8%)	12,515 (102.3%)	7,503 (101.1%)	97,780 (103.8%)	22,711 (105.3%)	5,347 (106.9%)	
2020（R2）年3月末	8,006 (100.1%)	12,451 (99.5%)	7,431 (99.0%)	97,727 (99.9%)	22,811 (100.4%)	5,499 (102.8%)	
2021（R3）年3月末	8,068 (100.8%)	12,785 (102.7%)	7,688 (103.5%)	100,729 (103.1%)	23,864 (104.6%)	5,759 (104.7%)	
2022（R4）年3月末	8,030 (99.5%)	12,780 (100.0%)	7,729 (100.5%)	102,287 (101.5%)	24,498 (102.7%)	5,863 (101.8%)	
2023（R5）年3月末	7,910 (98.5%)	12,705 (99.4%)	7,923 (102.5%)	104,164 (101.8%)	24,960 (101.9%)	5,990 (102.2%)	

注：数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告年報」及び京都府調査による

□ 要介護等認定者数は今後も増加すると見込まれ、2026（令和8）年度の京都府内の認定者数は約18万人と、2023（令和5）年3月末と比較して約8%増加すると推計されます。（図表2-18）

【図表2-18 圏域別の要介護(要支援)認定者数の将来推計（京都府）】 (単位：人)

			合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓		山城北	山城南	
							京都市	乙訓			
2024 (R6) 年度 (推計)	要支援	1	22,705	1,409	1,470	1,327	13,364	11,766	1,598	4,301	834
		2	29,328	1,306	2,131	1,180	19,023	17,657	1,227	4,669	1,019
	要介護	1	31,656	1,412	2,579	1,468	19,796	17,814	1,704	5,383	1,018
		2	32,913	1,224	2,672	1,383	21,970	20,500	1,465	4,499	1,165
		3	23,922	1,063	1,892	1,276	15,086	14,004	1,043	3,562	1,043
		4	19,321	1,058	1,442	979	12,302	11,238	1,030	2,735	805
		5	12,794	666	1,004	775	8,071	7,339	732	1,788	490
	合計	172,639	8,138	13,190	8,388	109,612	100,318	8,799	26,937	6,374	
認定率	23.2%	23.2%	21.8%	19.0%	24.9%	25.2%	22.0%	20.6%	18.6%		
2025 (R7) 年度 (推計)	要支援	1	22,951	1,401	1,489	1,335	13,459	11,812	1,647	4,395	872
		2	29,663	1,311	2,158	1,186	19,153	17,746	1,227	4,789	1,066
	要介護	1	32,032	1,407	2,592	1,472	19,992	17,952	1,704	5,517	1,052
		2	33,375	1,223	2,683	1,400	22,247	20,725	1,465	4,615	1,207
		3	24,335	1,056	1,911	1,293	15,330	14,207	1,043	3,672	1,073
		4	19,636	1,054	1,444	991	12,508	11,399	1,030	2,807	832
		5	12,966	663	1,015	781	8,184	7,436	732	1,825	498
	合計	174,958	8,115	13,292	8,458	110,873	101,277	8,848	27,620	6,600	
(対前年伸率)	101.3%	99.7%	100.8%	100.8%	101.2%	101.0%	100.6%	102.5%	103.5%		
認定率	23.5%	23.3%	22.2%	19.1%	25.2%	25.5%	22.7%	21.2%	19.0%		
2026 (R8) 年度 (推計)	要支援	1	23,140	1,406	1,496	1,346	13,521	11,831	1,690	4,468	903
		2	29,914	1,311	2,175	1,191	19,262	17,823	1,227	4,875	1,100
	要介護	1	32,463	1,412	2,608	1,491	20,221	18,124	1,704	5,636	1,095
		2	33,911	1,224	2,705	1,412	22,591	21,026	1,465	4,721	1,258
		3	24,839	1,059	1,927	1,310	15,646	14,487	1,043	3,789	1,108
		4	20,043	1,062	1,447	1,006	12,771	11,628	1,030	2,896	861
		5	13,194	662	1,022	791	8,338	7,570	732	1,868	513
	合計	177,504	8,136	13,380	8,547	112,350	102,489	8,891	28,253	6,838	
(対前年伸率)	101.5%	100.3%	100.7%	101.1%	101.3%	101.2%	100.5%	102.3%	103.6%		
認定率	24.0%	23.6%	22.5%	19.4%	25.7%	25.9%	23.4%	21.8%	19.6%		
2030 (R12) 年度 (推計)	要支援	1	24,746	1,416	1,572	1,507	14,244	12,426	1,818	4,969	1,038
		2	31,827	1,305	2,260	1,265	20,324	18,769	1,227	5,390	1,283
	要介護	1	34,734	1,424	2,707	1,618	21,372	19,082	1,704	6,325	1,288
		2	36,155	1,234	2,793	1,502	23,813	22,091	1,465	5,349	1,464
		3	26,600	1,063	1,987	1,372	16,596	15,306	1,043	4,285	1,297
		4	21,470	1,051	1,491	1,097	13,578	12,288	1,030	3,258	995
		5	13,979	662	1,046	826	8,786	7,930	732	2,077	582
	合計	189,511	8,155	13,856	9,187	118,713	107,892	9,019	31,653	7,947	
認定率	25.7%	24.5%	23.8%	21.2%	27.1%	27.3%	25.8%	24.6%	21.9%		
2035 (R17) 年度 (推計)	要支援	1	24,510	1,418	1,583	1,554	13,889	12,083	1,806	4,938	1,128
		2	31,886	1,313	2,274	1,306	20,077	18,502	1,227	5,510	1,406
	要介護	1	35,696	1,440	2,816	1,730	21,641	19,291	1,704	6,606	1,463
		2	37,798	1,234	2,921	1,595	24,588	22,747	1,465	5,771	1,689
		3	28,328	1,067	2,078	1,460	17,436	16,034	1,043	4,758	1,529
		4	22,903	1,068	1,545	1,185	14,324	12,887	1,030	3,607	1,174
		5	14,741	663	1,070	890	9,190	8,265	732	2,264	664
	合計	195,862	8,203	14,287	9,720	121,145	109,809	9,007	33,454	9,053	
認定率	26.6%	26.2%	25.2%	23.1%	27.4%	27.5%	26.5%	26.2%	23.8%		

【図表2-18 圏域別の要介護(要支援)認定者数の将来推計(京都府)】※前頁つづき(単位:人)

			合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓		山城北	山城南	
							京都市	乙訓			
2040 (R22) 年度 (推計)	要支援	1	22,658	1,299	1,455	1,459	12,928	11,232	1,696	4,404	1,113
		2	30,035	1,232	2,168	1,260	18,918	17,434	1,484	5,065	1,392
	要介護	1	34,005	1,352	2,684	1,698	20,549	18,289	2,260	6,237	1,485
		2	37,047	1,195	2,879	1,561	23,966	22,126	1,840	5,676	1,770
		3	28,446	1,052	2,086	1,458	17,332	15,924	1,408	4,847	1,671
		4	23,117	1,048	1,566	1,230	14,355	12,849	1,506	3,629	1,289
		5	14,895	645	1,094	913	9,245	8,305	940	2,301	697
	合計	190,203	7,823	13,932	9,579	117,293	106,159	11,134	32,159	9,417	
	認定率	25.1%	26.2%	24.4%	23.4%	25.7%	25.8%	23.8%	24.4%	22.9%	
	2045 (R27) 年度 (推計)	要支援	1	22,062	1,189	1,371	1,365	12,873	11,201	1,672	4,146
2			29,025	1,128	2,053	1,176	18,563	17,106	1,457	4,719	1,386
要介護		1	32,404	1,229	2,519	1,575	19,832	17,637	2,195	5,775	1,474
		2	34,857	1,095	2,696	1,441	22,675	20,910	1,765	5,215	1,735
		3	26,372	962	1,947	1,352	16,069	14,729	1,340	4,407	1,635
		4	21,431	950	1,467	1,149	13,305	11,870	1,435	3,301	1,259
		5	13,877	589	1,023	848	8,608	7,707	901	2,115	694
合計		180,028	7,142	13,076	8,906	111,925	101,160	10,765	29,678	9,301	
認定率		24.0%	26.3%	23.4%	22.8%	24.7%	24.8%	23.6%	22.8%	21.9%	

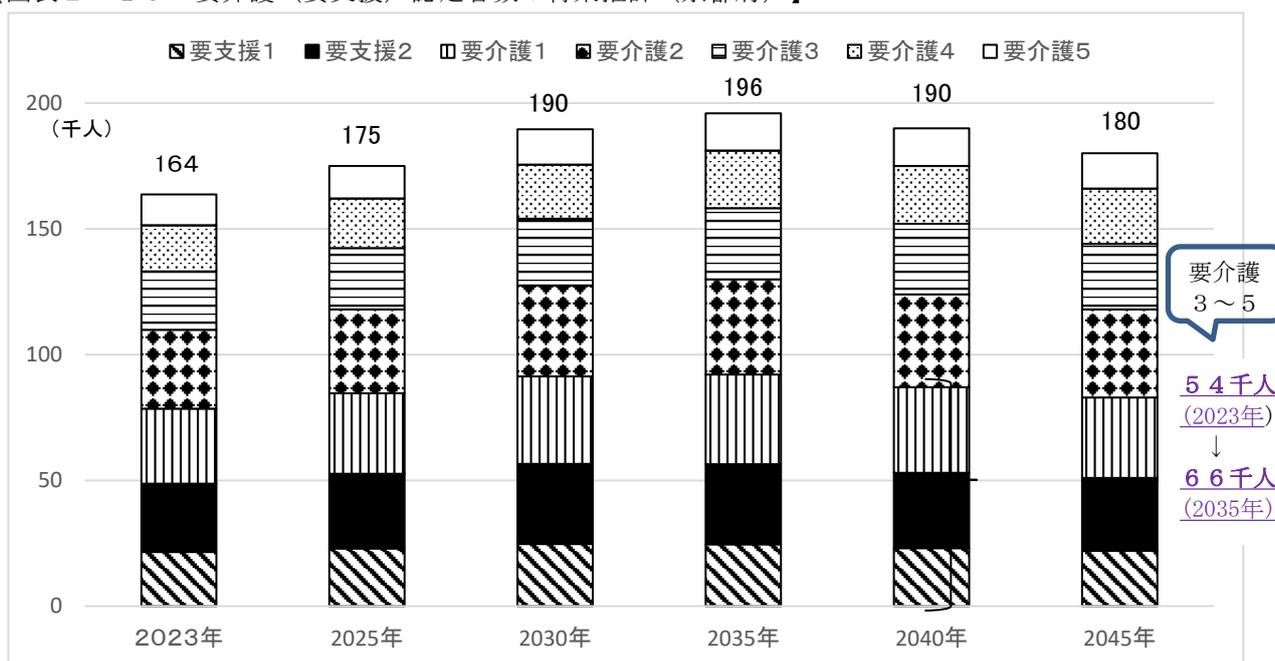
注1: 数値は第9期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計(第4回目)の集計による

注2: 要介護(要支援)認定者数は、第1号被保険者と第2号被保険者の計

□ 図表2-18でお示した今後の要介護(要支援)認定者数の長期的な将来推計をグラフ化すると、今後も要介護認定者は増加を続け、2035(令和17)年にはピークをむかえ、約19万5千人に達する見込みとなります。(図表2-19)

□ 特に、要介護3~5の重度者に着目すると、今後も増加を続け、2035(令和17)年には2023(令和5)年の約1.2倍に増加することとなります。(図表2-19)

【図表2-19 要介護(要支援)認定者数の将来推計(京都府)】



注: 介護保険事業状況報告令和5年9月月報及び第9期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計(第4回目)から試算

5 高齢者の受診・疾病の状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢者の受診数が、全体の約半数を占めており、疾病では「循環器系疾患」が最も多い
- ▶ 京都府の高齢者医療費は全国平均と比較して高水準

(1) 受診者総数等の状況

- 令和2年患者調査によると、全国の高齢者の受診者総数は約452万人であり、患者数の54.2%となっています。(図表2-20)

【図表2-20 患者数の状況(全国)】

	入院	外来	合計
患者数	121.2万人	713.8万人	834.9万人
うち65歳以上	90.5万人 (74.7%)	361.9万人 (50.7%)	452.4万人 (54.2%)

注：数値は厚生労働省「令和2年患者調査」による

- 京都府内の高齢者の受診者総数は約8.7万人で、患者数の57.7%と約6割を占める状況であり、全国より高い数値となっています。(図表2-21)

【図表2-21 患者数の状況(京都府)】

	入院	外来	合計
患者数	2.5万人	12.7万人	15.1万人
うち65歳以上	2.0万人 (78.9%)	6.8万人 (53.6%)	8.7万人 (57.7%)

注：数値は厚生労働省「令和2年患者調査」による

- 高齢者の入院に係る傷病別の状況を見ると、「循環器系疾患」が17.7%と最も多く、次いで「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が12.6%、「精神及び行動の傷害神経系疾患」がそれぞれ12.4%となっています。
(図表2-22)

【図表2-22 高齢者の入院に係る傷病別の状況(京都府)】

	第1位	第2位	第3位
傷病分類名 (構成比)	循環器系疾患 (17.7%)	損傷、中毒及び その他の外因の影響 (12.6%)	精神及び行動の傷害 神経系疾患 (12.4%)
主な傷病	高血圧性疾患 脳血管系疾患	骨折	統合失調症 神経症性障害 ストレス関連障害

注：数値は京都府健康福祉統計「令和2年患者調査」による

(2) 後期高齢者医療費の状況

□ 2021（令和3）年度の京都府の後期高齢者医療費の総額は約3,889億円となっており、1人当たり後期高齢者医療費は、1,027,254円で全国第12位と全国的にも高水準となっています。（図表2-23、2-24）

【図表2-23 後期高齢者の医療費の状況（京都府）】

	2019（R1）年度	2020（R2）年度	2021（R3）年度
高齢者医療費総額	3,848億円	3,755億円	3,889億円
給付件数	1,074万件	1,025万件	1,065万件

注：数値は厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」による

【図表2-24 後期高齢者の1人当たり医療費の状況（全国上位）】

1位	2位	3位	12位	47位	全国平均
福岡県 1,174千円	高知県 1,173千円	鹿児島県 1,111千円	京都府 1,028千円	新潟県 755千円	941千円

注：数値は厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」による